

# mitsubishi

三菱液晶ディスプレイ

## Diamondcrysta WIDE

## RDT202WM-S シリーズ (BE560)

### 取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」、「ユーティリティディスク」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。(27頁参照)
- この取扱説明書内のURLはクリックするとWeb.サイトへリンクします。

インターネットホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/display/>

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

#### 製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage>

#### もくじ

	ページ
ご使用前に	2
何ができるの?	2
付属品の確認	2
本書の見かた	3
安全のために必ず守ること	4
各部の名称	7
本体正面	7
本体背面	8
接続	9
ベーススタンドを取り付ける	9
接続方法について	9
接続する	10
ヘッドホンの接続	13
Windows® セットアップ情報と テストパターンについて	14
設定	15
自動調節をする	15
画面調節 (OSD機能)	16
OSD画面の基本操作	16
OSD機能について	17,18
主なOSD機能	18
OSD機能による画面調節が必要となる場合	20
その他の機能について	21
困ったとき	22
故障かな?と思ったら	22
本機を廃棄するには	25
保証とアフターサービス	25
個人情報の取り扱い	25
付録	26
再梱包するとき	26
市販のアームを取り付けるとき	26
用語解説	28
仕様	30
TCO'03	31
FCC	32
さくいん	33

ご使用の  
安全のため  
に:

各部の  
名称

接続  
設定

画面  
調節  
機能

困った  
とき

付  
録

## ご使用の前に

### 何ができるの？

#### 2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

##### ■ 2系統入力 (→P10)

2台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

#### AV機器と接続したい

##### ■ HDCP対応機能 (→P11, P20, P21, P30)

AV機器のHDMI出力端子と本機のDVI-I入力端子の間を市販の変換ケーブルで接続すると、AVタイミング信号 (→P20) を表示することができます。

##### ■ コンポーネント信号対応 (→P11, P20, P21, P30)

市販の変換ケーブルや変換アダプタを使用して本機のミニD-SUBに接続した場合も、AVタイミング信号 (→P20) を表示できます。

#### ステレオスピーカー内蔵 (1W+1W)

##### ■ 前面にヘッドホン端子も装備 (→P13)

#### 明るさや色の調節をしたい

##### ■ OSD機能 (On Screen Display) (→P16~P20)

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラーなどをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作 (OSDオートオフ、OSDロックなど) もできます。

##### ■ IV MODE (Intelligent Visual Mode) (→P19)






人間工学的な知見のもとに、年齢によるまぶしさの感じ方や表示画像の平均輝度に応じた明るさ制御を自動的におこない、目の疲労をやわらげます。一般的に、若年層では明るさに対する感度が高くなるため、より明るさを抑えた設定になります。

#### スタンドの角度を調節したい

##### ■ スタンド調節機能 (→P13)

角度を上下方向に調節することができます。

本機は、デジタルとアナログ両方の信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」(→P9) に記載してあります

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
デジタル接続	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	DVI-D端子またはDVI-I端子	不要 (つなぐだけでご使用になれます)
アナログ接続	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	ミニD-SUB15ピン端子、DVI-I端子※3またはD-SUB15ピン端子	要 (→P15)
2系統入力	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	デジタル出力端子とアナログ出力端子を併用します。	要 (アナログ接続のみ) (→P15)

※1 Windows®をご使用の方は、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。(→P14)

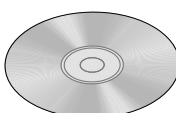
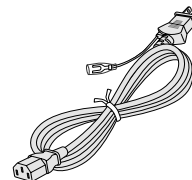

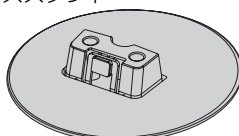

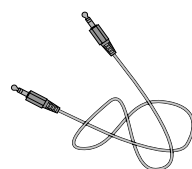

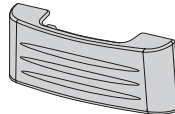
※2 Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター (市販) が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」(→P9) をご覧ください。

※3 DVI-I端子によるアナログ接続には、変換アダプター (市販) 等が必要となります。詳しくは「接続方法について」(→P9) をご覧ください。

### 付属品の確認

ご購入いただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。

万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

ユーティリティディスク (取扱説明書、テストパターン) 	電源コード 	信号ケーブル  ミニD-SUB15ピン -ミニD-SUB15ピン (アナログ接続用)	ベーススタンド 
セットアップガイド 	オーディオケーブル 	DVI-D-DVI-Dケーブル (デジタル接続用) 	ケーブルホルダー 
			保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)

## 本書の見かた

### 本書の表記のしかた

**お願い**：取扱い上、特に守っていただきたい内容

**お知らせ**：取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

：Windows®のみに関わる内容

：Macintoshのみに関わる内容

### 知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P2)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P3)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P28)

もくじで探す→「もくじ」(→表紙)

さくいんで探す→「さくいん」(→P33)

### 本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

#### ご使用前に (→P2)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

#### 安全のために必ず守ること (→P4)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

#### 各部の名称 (→P7)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

#### 接続 (→P10)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

#### 画面調節 (OSD機能) (→P16)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

#### その他の機能 (→P21)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

#### 困ったとき (→P22)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

#### 付録 (→P26)

用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

ご使用のために  
安全のために  
：

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。  
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本商品はスウェーデンの労働団体TCOにより定められた、低周波電磁界、エルゴノミクス、省エネルギー、環境保護に対する規格であるTCO'03に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準(2006年度版)を満たしています。  
詳細は、Webサイト：<http://www.pc3r.jp> をご覧ください。



本製品はJ-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づくグリーンマークを表示しています。

特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。  
詳細は、Webサイト：<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/jmoss/> をご覧ください。  
形名：RDT202WM-S / RDT202WM-S(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintoshは、米国アップル社の登録商標です。



Diamondcrystalは、三菱電機株式会社の登録商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------









図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）






ご使用の前に  
安全のために  
：

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

## 警告

<p><b>万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!</b></p> <p>異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。</p> <p style="text-align: right;"> プラグを抜く</p>		
<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p> <p style="text-align: right;"> 使用禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p> <p style="text-align: right;"> 分解禁止</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>
<p>電源コードを傷つけない</p> <p style="text-align: right;"> 傷つけ禁止</p> <p>熱器具のそば やぶれ 下敷き コードをひっぱる</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p> <p style="text-align: right;"> 使用禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>アース線を接続する</p> <p style="text-align: right;"> 接地</p> <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。 アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <p style="text-align: right;"> 水ぬれ禁止</p> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>

## ⚠ 警告

<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。</p> <p>安全のため他の機器には使用できません。</p>		<p><b>修理・改造をしない</b></p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p>	 <p>修理・改造禁止</p>	<p><b>液晶を口にしない</b></p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。</p> <p>手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p>	 <p>警告</p>
		<p><b>ポリ袋で遊ばない</b></p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>		
		<p><b>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</b></p> <p>感電の原因になります。</p>	 <p>接触禁止</p>		

ご使用のために  
安全のためには  
：

## ⚠ 注意

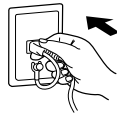
設置のときは次のことをご守りください。  
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p><b>狭い所に置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>	<p><b>あお向けや横倒し、さかさまにしない</b></p>   <p>禁止</p>	<p><b>直射日光や熱器具のそばに置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>
<p><b>布などで通風孔をふさがない</b></p>   <p>禁止</p>	<p><b>屋外での使用禁止</b></p>   <p>屋外での使用禁止</p>	<p><b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>
<p><b>車載用禁止</b></p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因になることがあります。</p>	
<p><b>液晶パネルに衝撃を加えない</b></p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p>   <p>禁止</p>	
<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p>   <p>プラグを持つ</p>	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p>   <p>ぬれ手禁止</p>	

# 注意

## 電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかり差し込む

## お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。  
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.



プラグを抜く

## スタンドに指をはさまない

角度調節時、取り付け、取り外し時に指をはさむとけがの原因になります。



指はさみ注意

## 液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（→P25：本機を廃棄するには）

## 1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。  
内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

## 長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く



プラグを抜く

## 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。  
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

# 液晶ディスプレイの上手な使い方

## 長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。  
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。



長時間同じ画面を表示しない

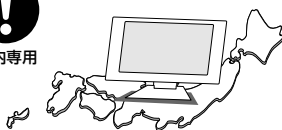
## 日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。  
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。  
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



## キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



プラグを抜く



## 液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。  
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）  
推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると商品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。



## キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。  
キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。



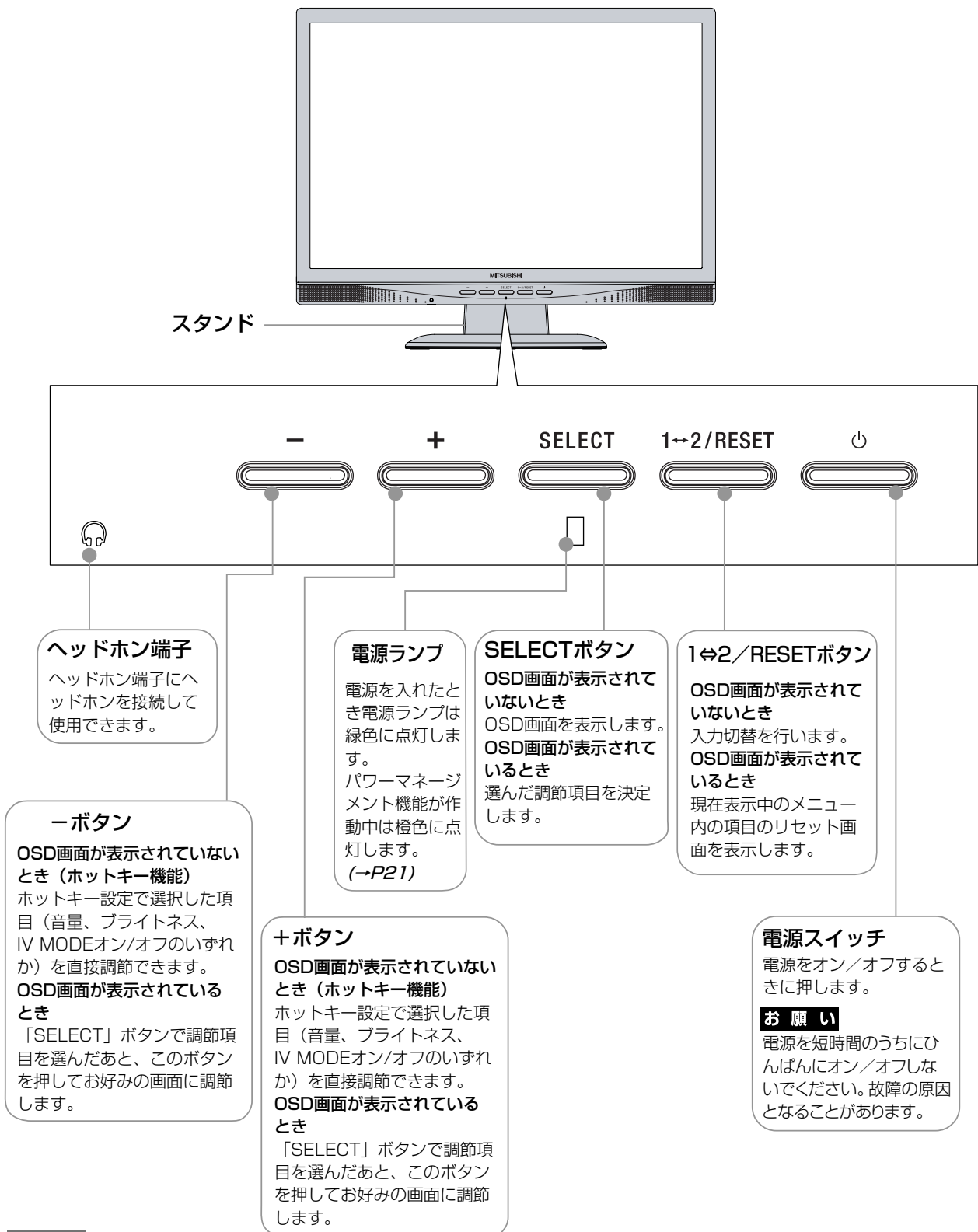
使用禁止

## 上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。  
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

# 各部の名称

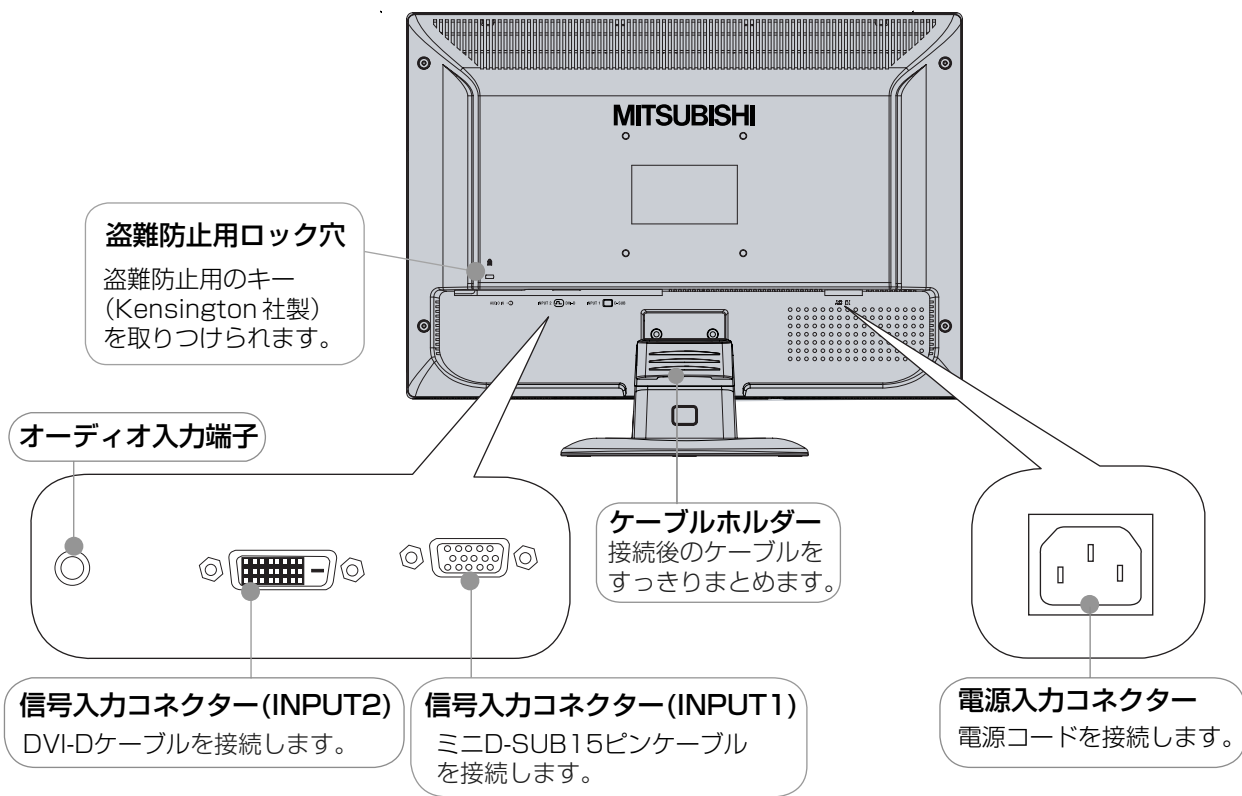
## 本体正面



### お知らせ

●各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」(→P16)をご覧ください。

## 本体背面



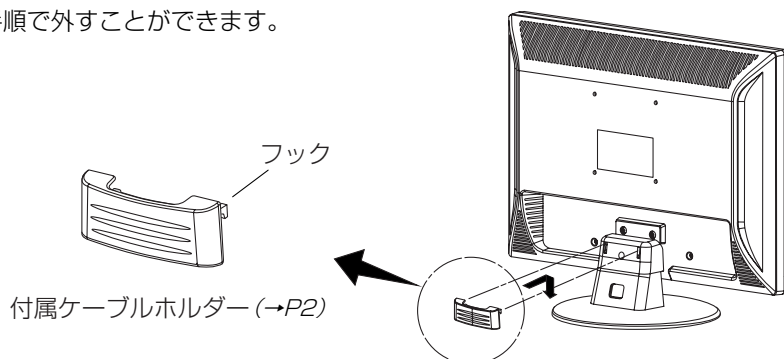
各部の名称

## ケーブルホルダーを取り付ける

電源コードや信号ケーブルを本機に接続後、付属のケーブルホルダーを使ってケーブルをすっきりまとめることができます。

ケーブルホルダーは図のようにスタンド背面の穴にホルダーのフック部を挿入して「カチッ」と音がするまで押し下げてください。

取り外す場合は、逆の手順で外すことができます。

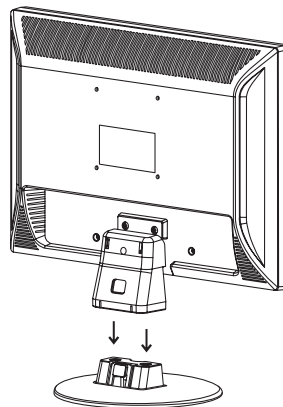




## 接続

### ベーススタンドを取り付ける

図のように水平な机の上にベーススタンドを置いてください。本体のベーススタンドの飛び出し部分に合わせ、「カチッ」と音がするまでしっかりさし込んでください。

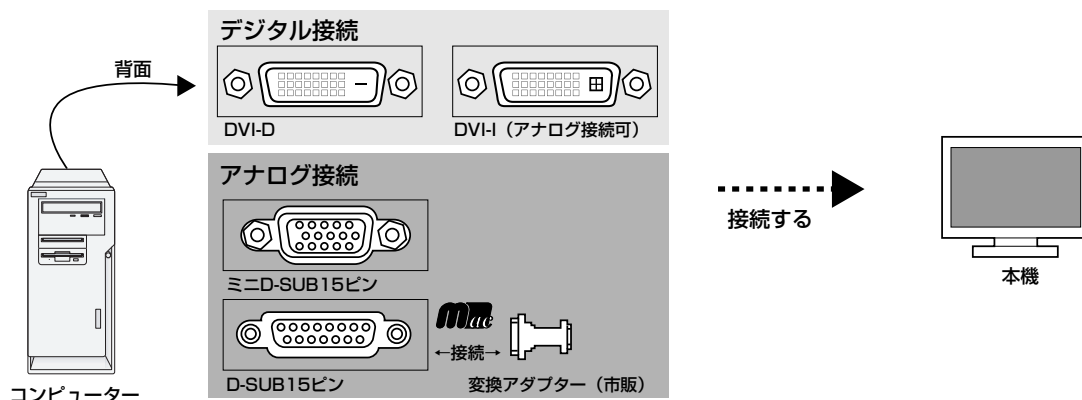


#### ⚠ 注意

ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。取り付けの際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。

### 接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D）に対応しています。また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



### 接続コネクタと信号ケーブル対応表

コンピューター側	ディスプレイ側	ミニD-SUB15ピン (INPUT1)	DVI-D (INPUT2)
DVI-I (アナログ接続/デジタル接続)	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続
DVI-D (デジタル接続)	接続できません	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続)	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン (アナログ接続)	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません	接続できません

各部の名称

## 接続する

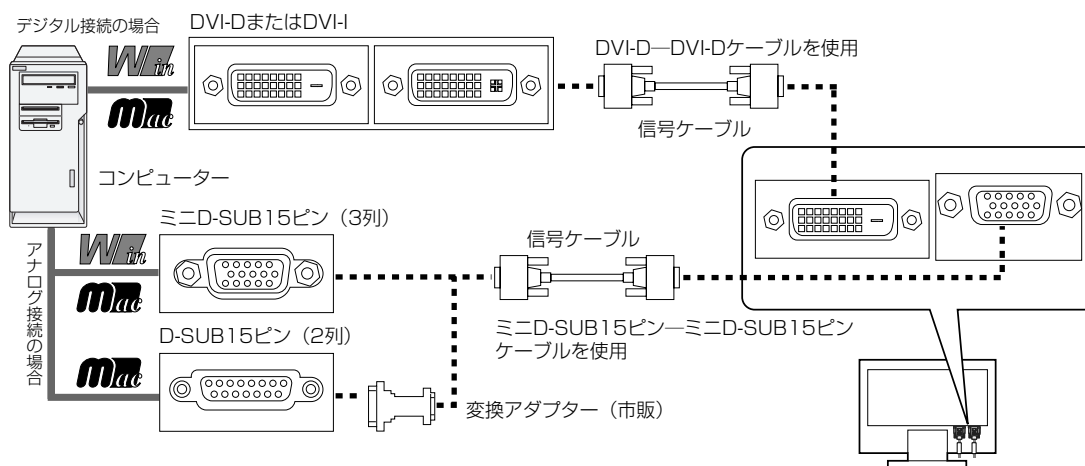
### お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

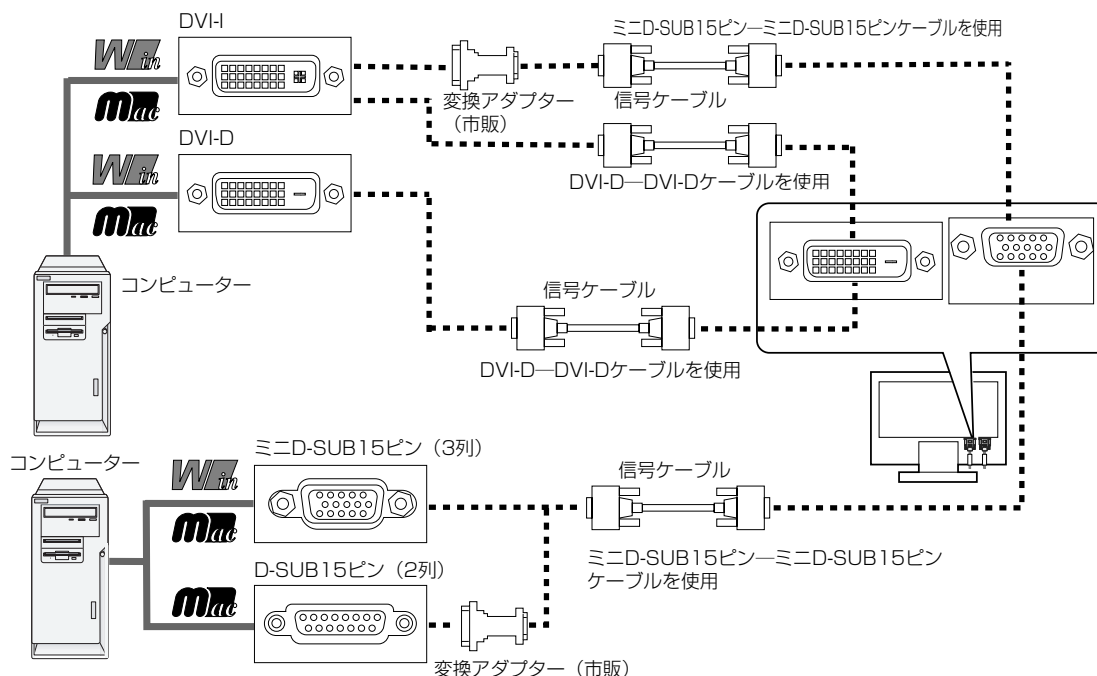
### 1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

#### 1台のコンピューターをつなぐ場合



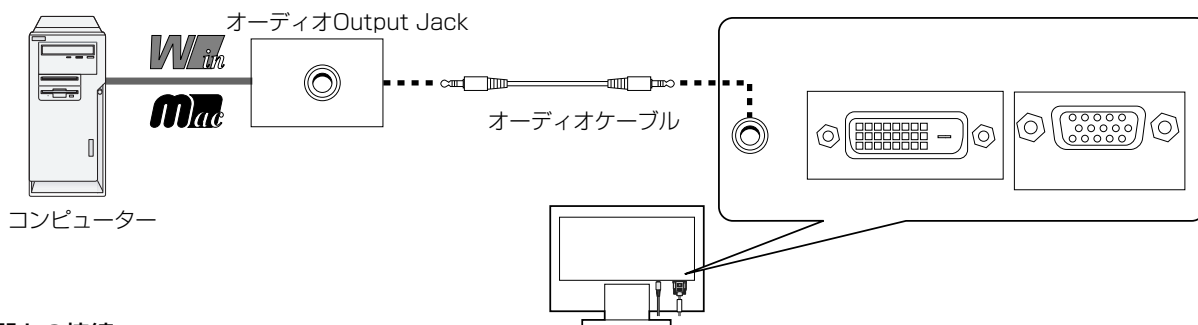
#### 2台のコンピューターをつなぐ場合 (2系統入力)



- ※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。
- ※ デジタル接続のみで2台のコンピューターを接続することはできません。
- ※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

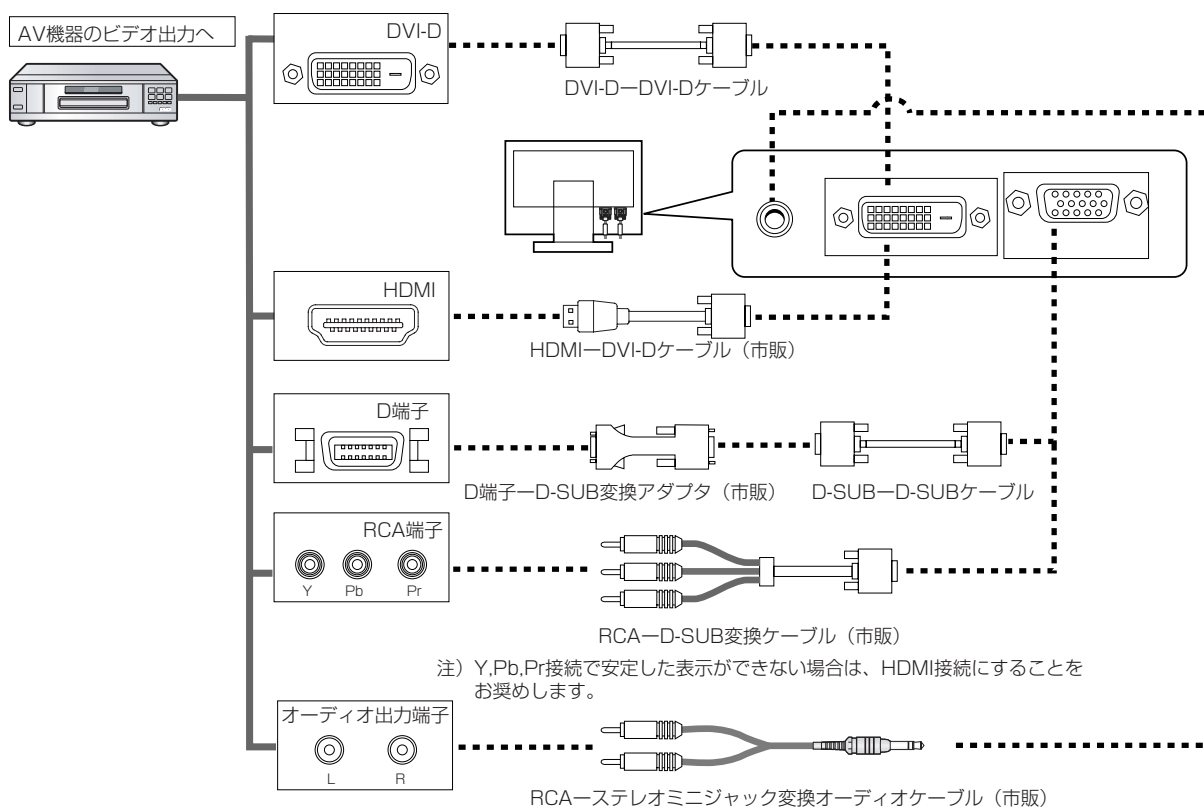
## 接続する

### 2 オーディオケーブルやAVケーブルを接続する



### AV機器との接続

本機はAV機器などと接続して使用することができます。  
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。



注) Y,Pb,Pr接続で安定した表示ができない場合は、HDMI接続にすることをお奨めします。

注) AV機器のHDMI端子出力を本機に接続しても音声信号は接続できていません。  
音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機のオーディオ入力端子で接続してください。

接続  
設定

### ③ 電源を接続する

#### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(1.0A以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む  
奥までしっかりと差し込んでください。

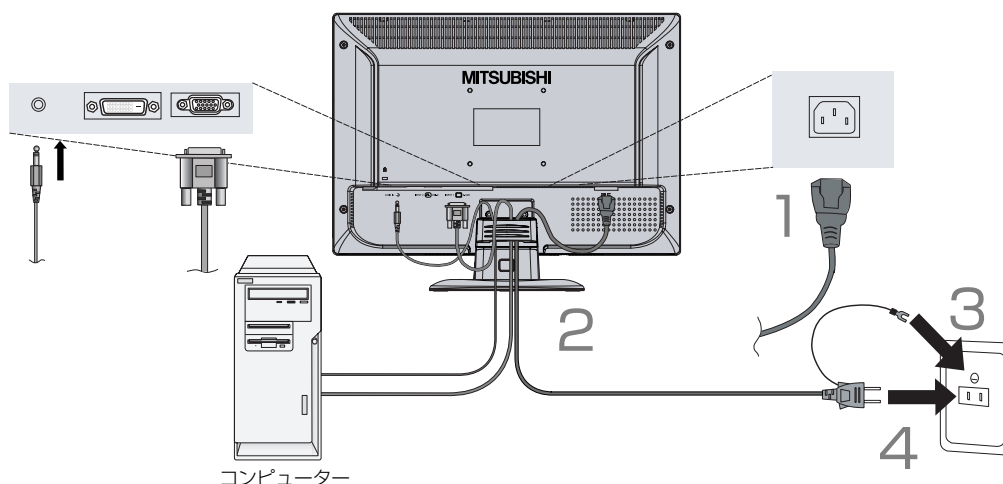
2 電源コードと信号ケーブルとオーディオケーブルをケーブルホルダーでまとめる。

#### お願い

- 画面を前後に動かし(→P13)、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダーの取付け方は(→P8)を参照ください。

3 アースリード線を接地(アース接続)する

4 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



#### 警告

- ・ 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際は、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・ 電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。  
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

#### お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。  
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

5 本機およびコンピューターの電源を入れる

## 4 調節をおこなう

### 1 画面の調節をおこなう

#### ■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

#### ■ アナログ接続の場合

「自動調節をする(アナログ接続の場合のみ)」(→P15)の手順にしたがって自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節(OSD機能)」(→P16)をご覧ください。

#### お知らせ

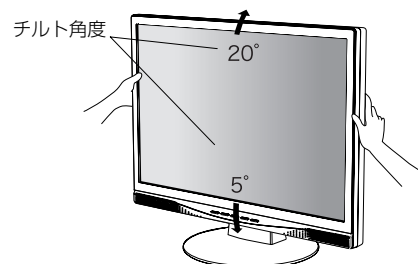
- 最適な解像度以外の信号を入力している場合、RESOLUTION NOTIFIERの案内画面が表示されます。解像度を変えずにこのままご使用になる場合、この案内画面を表示させなくすることができます。方法については「ツール」の「■RESOLUTION NOTIFIER」(→P19)をご覧ください。



RESOLUTION NOTIFIERの案内画面

### 2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。右図のように見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

#### ⚠ 注意

角度調節時に、指をはさまないように気をつけてください。けがの原因となることがあります。

### ヘッドホンの接続

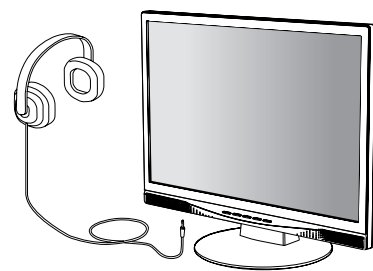
液晶ディスプレイ前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

#### ⚠ 注意

ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。

#### お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。
- ヘッドホンジャックは、本体の底面にあります。コードプラグが大きいヘッドホンは設置面との隙間が狭く接続できない場合があります。コードプラグが小さなヘッドホンのご使用をお奨めいたします。



設接  
定続

## Windows® セットアップ情報とテストパターンについて

### Windows® セットアップ情報

Windows® 95/98/Me/2000/XP, Windows Vista™ 用のセットアップ情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download>

### テストパターン

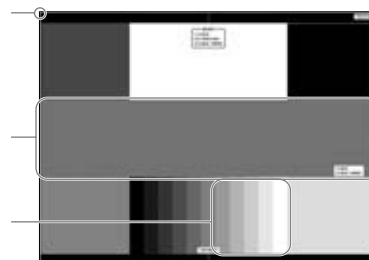
付属のユーティリティディスクには、テストパターンが入っています。このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。

ご使用方法については、ユーティリティディスクの README をご覧ください。

画面調節メニューの左/右または下/上の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。(→P17)

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。(→P17)

ブライトネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。(→P17)



テストパターン表示画面

## 自動調節をする（アナログ接続の場合）

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(→P17, P18)  
 自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

### お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」(→P16)をご覧ください。
- ビデオ入力(→P21)時は、「オートコントラスト」「オートアジャスト」「上下方向の位置」調節は動作しません。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

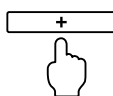
2 画面全体に付属のユーティリティディスクのテストパターン(→P14)またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを表示します。



4 コントラストの自動調節をおこなう

① 「+」ボタンを押し、オートコントラストにカーソルを移動し、「SELECT」ボタンを押しします。



② 「1⇔2/RESET」ボタンを押しします。コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

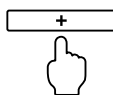


自動調節画面

「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順5に進みます。

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

① コントラストの自動調節が終わったら、「+」ボタンを押し、「自動調節」にカーソルを移動し「SELECT」ボタンを押しします。



② 「1⇔2/RESET」ボタンを押しします。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



自動調節画面

「実行中…」の表示が消え、アイコンの選択画面が表示されたら、調節完了です。これですべての自動調節が完了しました。

6 以下の手順でOSDメニューを消してください。

- ① 「+」ボタンを押して「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。
- ② 「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを消します。

### お願い

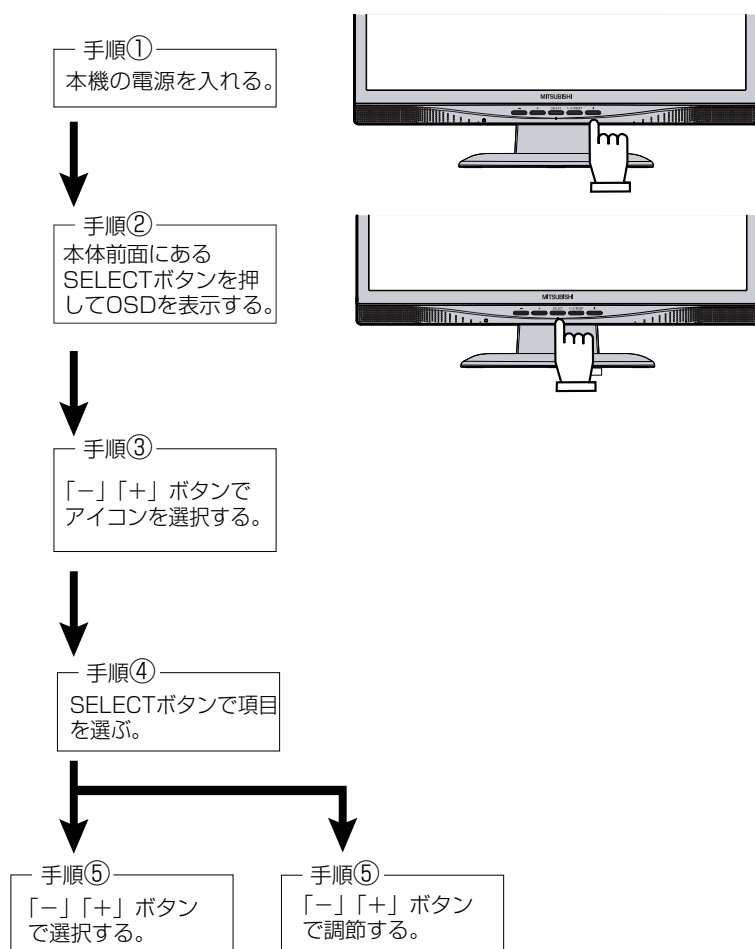
- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいには画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

## 画面調節 (OSD 機能)

### OSD画面の基本操作

本機にはOSD (On Screen Display) 機能がついています。OSD画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



設  
接  
定  
統

その他、OSD画面上で操作方法を表示している場合は、それに従ってください。

#### お知らせ

上記のボタンのいずれも押さずOSDオートオフで設定された時間が経過するとOSD画面は自動的に消えます。  
(工場設定は45秒です。)





## OSD機能について

アイコン	内 容	
ミュート時 音量	スピーカーの音量を調節します。 「1⇄2/RESET」ボタンを押すと、MUTE (消音) 状態になります。 もう一度「1⇄2/RESET」ボタンを押すと、MUTE (消音) 状態はOFFになります。	
ブライツネス	画面の明るさを調節します。	
コントラスト	コントラストを調節します。(→P15)	
AUTO コントラスト(AUTO)	コントラストを自動調節します。(アナログ接続の場合のみ)	
ブラックレベル	黒レベルを調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。	
AUTO 自動調節	左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。(アナログ接続の場合のみ)(→P15)	
左/右	左右方向の表示位置を調節します。(アナログ接続の場合のみ)	
下/上	上下方向の表示位置を調節します。(アナログ接続の場合のみ)(→P15)	
水平サイズ	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。(アナログ接続の場合のみ)	
位相	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。(アナログ接続の場合のみ)	
9300 COLOR	色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。 設定されている色(9300 6500 5000 USER)がアイコンで表示されます。	
RED	赤色を調節します。	
GREEN	緑色を調節します。	
BLUE	青色を調節します。	
TOOL	TOOLアイコンを選択すると下記の言語切替、OSDオートオフ、OSDロック、RESOLUTION NOTIFIER、MONITOR INFO.のアイコンに切り替わります。	
	言語切替	OSD画面の表示言語を切り替えます。
	OSDオートオフ	OSD画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。
	OSDロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。 OSDロック状態でも、音量、コントラストとブライツネスは調節可能です。
	xy RESOLUTION NOTIFIER	最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/オフします。
	MONITOR INFO.	MODEL (形名)とSERIAL NUMBER (製造番号)を表示します。
	OSD水平表示位置	OSDの左右方向の表示位置を調節します。
	OSD垂直表示位置	OSDの上下方向の表示位置を調節します。

画面調節機能

次ページに続く

## OSD機能について

アイコン	内 容	
 TOOL	TOOLアイコンを選択すると下記の言語切替、OSDオートオフ、OSDロック、RESOLUTION NOTIFIER、MONITOR INFOのアイコンに切り替わります。	
	TOOLアイコン	内 容
	 画面サイズ	表示画面サイズを選択する機能です。 フル:画面表示を画面全体に拡大します。 アスペクト:縦横比率を変えずに画面拡大します。
	 シャープネス	文字や画像のキレを調節します。
	DDC/CI	DDC/CI通信機能をオン/オフします。オフの場合、「Visual Controller」等による外部からの制御ができなくなります。
	IV MODE	「オフ」、「ジュニア」、「ミドル」、「シニア」を選択します。
	 ホットキー設定	「音量」、「ブライトネス」、「IV MODE」を選択します。
	INPUT 1⇄2 入力自動切替	入力自動切替機能 (→P21) をオン/オフします。
EXIT	OSDメニューのTOOLアイコンに戻ります。	
 オールリセット	画面サイズ、音量、ブライトネス、コントラスト、表示画面の左/右/下/上位置、水平サイズ(表示画面幅)、色調節、OSDの水平/垂直表示位置、DDC/CI、OSDオートオフ、シャープネス、IV MODE、ホットキー、入力自動切替の設定を出荷時の状態に戻します。	
 EXIT	OSD画面を消します。	

## 主なOSD機能

### カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

● 9300、6500、5000

色温度調節

あらかじめ設定されている9300、6500、5000の色温度を選択することができます。

● USER

色調節

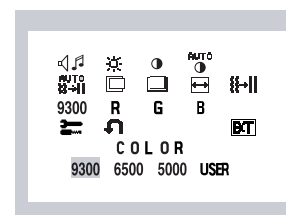
次のそれぞれの色についての調節ができます。

R：赤色、G：緑色、B：青色

9300、6500、5000を選択していても、R,G,B どれかを調節するとその時点で選択がUSERに切り替わります。

● リセット

「1⇄2/RESET」ボタンを押した後に「+」ボタンを押すと調節した値が工場設定に戻ります。



## 主なOSD 機能

### ツール

#### ■ OSD ロック

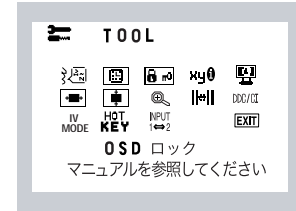
OSD ロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

##### ● OSD メニューの操作をロックする

「+」ボタンを押しながら、「1⇔2/RESET」ボタンを押すと、OSD がロックされ OSD オートオフで設定された時間後に OSD メニューは消えます。

##### ● ロックを解除する

OSD が表示されている状態で、「+」ボタンを押しながら、「1⇔2/RESET」ボタンを押すと、ロックが解除されます。



OSDロック設定中のOSD画面

#### ■ RESOLUTION NOTIFIER

最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/ オフします。

右のような画面が表示される場合、これを表示しないようにするためには、オフを選択してください。

操作の手順については、「OSD 画面の基本操作」(→ P16) を参考にしてください。

#### ■ 画面サイズ

PC入力のワイドフォーマットは、フルのみでアスペクトを選択できません。

但し、「ビデオ入力の表示解像度」(→ P21) に示す 16:9フォーマットはフル/アスペクトを選択できます。

ビデオ入力は、フル/アスペクトを選択できます。

ビデオ入力時にアスペクトを選択した場合は、「ビデオ入力の表示解像度」(→ P21) をご覧ください。

● DVDなどの16:9スクイーズ方式の映像ソースをご覧になる場合は、DVD機器側を4:3出力に設定し、アスペクトを選択することをお奨めします。



RESOLUTION NOTIFIERの案内画面

#### お知らせ

一部の解像度では画面全域に拡大されません。

入力信号によっては、表示画面が縦または横方向に十分拡大されないことがあります。

#### ■ IV MODE ( Intelligent Visual Mode)

人間工学的な知見のもとに、年齢によるまぶしさの感じ方や表示画像の平均輝度に応じた明るさ制御を自動的におこない、目の疲労をやわらげます。一般的に、若年層では明るさに対する感度が高くなるため、より明るさを抑えた設定になります。

##### ● オフ

IV MODEを無効にします。

##### ● ジュニア

長時間で使用になる時やアニメなど明るさの変化が大きい時にお奨めします。

##### ● ミドル

眩しさを抑えつつクッキリとした画面にします。

##### ● シニア

画面全体が明るい時の眩しさを抑えます。

### ホットキー

#### ■ ホットキー

ホットキー設定で選択した項目（音量、ブライトネス、IV MODEオン/オフのいずれか）を「+」「-」キーで直接調節できます。

## OSD機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節(→P17)をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

<工場プリセットタイミング>

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
720 × 350	31.5kHz	70.1Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1440 × 900	55.9kHz	60.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング
720 × 480	31.47kHz	59.94Hz	AVタイミング 480p
1920 × 1080 (インターレース)	33.75kHz	60.0Hz	AVタイミング 1080i ※1
1280 × 720	45.0kHz	60.0Hz	AVタイミング 720p
1920 × 1080	67.5kHz	60.0Hz	AVタイミング 1080p

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外に、15種類のタイミングを記憶できる機能があります(ユーザーメモリー機能)。記憶させたい信号を入力し、OSD機能でお好みの画面に調節(→P17,P18)するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数:31.0~82.3kHz垂直周波数56~76Hz対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピュータからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

### お知らせ

- 本機は解像度1680×1050以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- ※1 AV機器からY,Pb,Pr接続した場合、映像が揺れたり・表示が途切れたり・アスペクト表示で非表示領域に不要な線などが見える場合があります。そのような時は、HDMI接続での表示をお奨めします。

## その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

### 拡大・スムージングファイン機能

1680ドット×1050ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

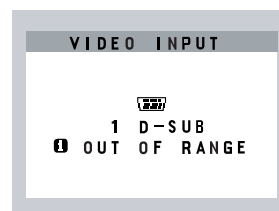
### 簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

OSD画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピュータの設定を変更することができます。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。



OSD画面の注意画面

### Plug&Play機能

VESAのDDC (Display Data Channel) 2B規格に対応したコンピュータと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピュータが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

### ノートッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (800×600以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

#### お知らせ

- ビデオ入力（下表参照）時は動作しません。

### 入力自動切替機能 (2系統入力時)

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。

2台のコンピュータを本機につなぎ、同時に使用している場合、「1⇄2/RESET」ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピュータの電源が切れると自動的にもう一方のコンピュータの画面に切り替わります。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 本機能はオン/オフすることができます。(→P18)

### パワーマネージメント機能

コンピュータを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

#### お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピュータと接続して使用する場合にのみ機能します。パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	56W	緑色点灯
スリープモード	2W以下	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号 (R, G, B) が出力されているようなコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

#### お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。  
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピュータと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピュータの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

### ビデオ入力の表示解像度

ビデオ入力時にアスペクトを選択した場合、以下の表示解像度になります。

ビデオ入力	入力解像度	表示解像度
480p	720 x 480	1400 x 1050
1080i	1920 x 1080	1680 x 1018
720p	1280 x 720	
1080p	1920 x 1080	

## 困ったとき

### 故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照	
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P25	
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P7	
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12	
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。		
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。		
	電源ランプが緑色に点灯している場合	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P16	
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P25	
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス・コントラスト」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P17	
	電源ランプが橙色に点灯している場合	● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10,20	
		電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P21
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P10	
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P10	
画面が表示しなくなった	コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P25	

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1440×900以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P20
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P29
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。	P29, P30
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は徐々に薄れていきます。	P29
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P16
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P25
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはRESET ボタンで工場設定に戻してください。	P18
	● OSD画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10, 20
画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継せず、コンピューターと直に接続してください。	P10
画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P16
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P25
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10, 20


## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※ <sup>1</sup>	信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。	P11
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピュータの電源が切れている可能性があります。	コンピュータの電源が入っているか確認してください。	
	コンピュータのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P21
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※ <sup>2</sup>	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P20
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P20
画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された！	ご使用のコンピュータから出力されている解像度の信号が推奨サイズ以外に設定されています。	コンピュータ本体の解像度を1680×1050にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ（非表示）に設定してください。	P19

※<sup>1</sup> コンピュータによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※<sup>2</sup> コンピュータによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピュータの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows®をご使用の場合は、Windows® セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows® セットアップ情報当社ホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。(→P14)
	Windows® セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピュータの取扱説明書をご参照いただくか、コンピュータのサポート機関にお問い合わせください。
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている。または、MUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「  」で音量を調節、または「1⇄2/RESET」ボタンを押してMUTEをOFFにしてください。(→P17)



## 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html>

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 <a href="http://www.pc-eco.jp">http://www.pc-eco.jp</a>	TEL 03-3455-6106 <a href="http://www.diarcs.com">http://www.diarcs.com</a>
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

### ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている商品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

なお、“PCリサイクル”の表示のない商品でも、個人のお客様が2003年10月以降にご購入し、ご家庭から排出される場合には、当社所定のリサイクル受付窓口へお申し込みいただければ、“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

## 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、「修理相談窓口（フリーダイヤル：0120-08-1460）」へご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

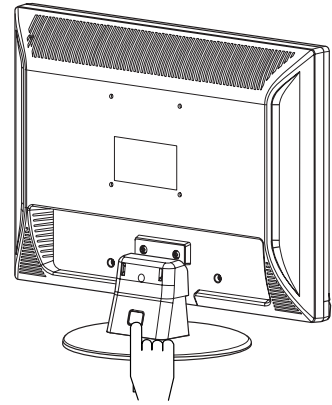
- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：三菱液晶ディスプレイ
- 形名：RDT202WM-S / RDT202WM-S (BK)
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 使用状況  
(PCおよびグラフィックボード（メーカー、形名）、  
解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など)

## 個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
    - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
    - ②法令等に定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご連絡ください。

### 再梱包するとき

再梱包の際は図のボタンを押してください。  
ベーススタンドを取り外すことができます。



### ⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷つけないように注意してください。  
つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

### 市販のアームを取りつけるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

#### お願い

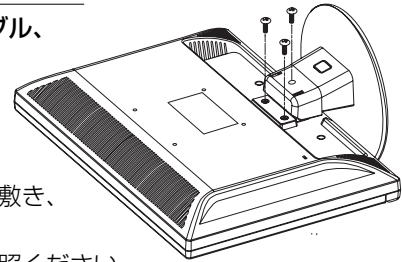
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約4.5kgです。）

#### お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

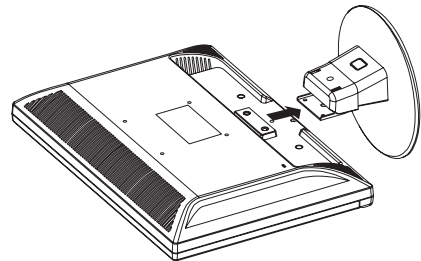
- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。



#### お願い

- スタンドと床が平行になるように、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。
- ケーブルホルダーが装着されている場合の取り外し方は（→P8）を参照ください。

- 2 スタンドを取りつけている3本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。



#### お願い

- スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

## アームの取り付け方

### 3 下記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm  
VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ~ 137N・cm が適切な締めトルクです。)

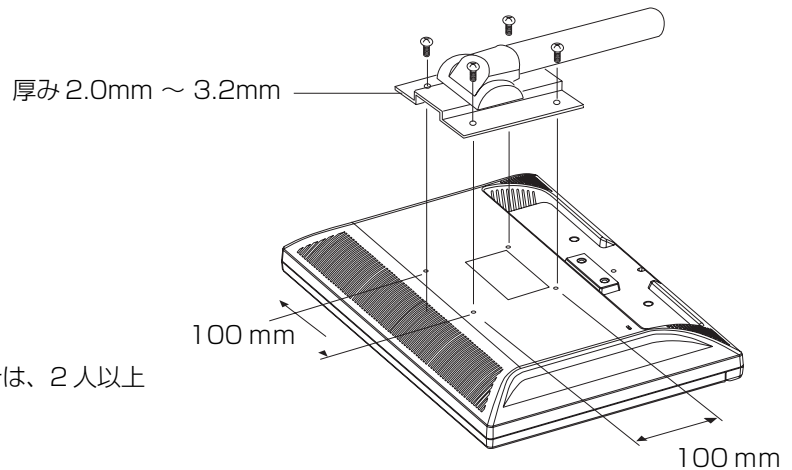
### ⚠ 注意

#### 落下防止のために

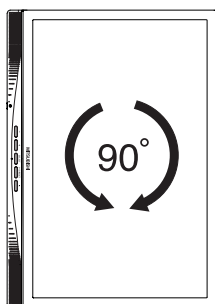
- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。  
また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談ください。  
万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。  
万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

#### 火災や感電防止のために

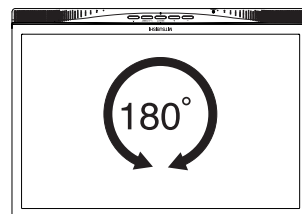
- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。  
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。  
緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ (長さ 12-14mm)
- アームを取り付けてご利用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。  
内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。



禁止



## 用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

**2系統入力 P10, 21**  
2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ準備していることを表します。

**DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P21**  
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

**DDC/CI 規格 (Display Data Channel / Command Interface)**  
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。この規格に準拠した制御用ソフト「Visual Controller」(→ P28)を使えば、ディスプレイの前面ボタンだけではなく、色や画質の調節などがコンピューターの側から操作できます。

**DPM (Display Power Management) P21**  
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

**DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital) P2, 8~11**  
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

**DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P2, 9, 10**  
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

**Plug&Play P21**  
Windows で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

**RESOLUTION NOTIFIER P13,19**  
最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

**VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) P21, 26**  
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

**Visual Controller**  
当社オリジナルの、DDC/CI (→ P28) 国際規格に準拠した制御用ソフトです。当社ホームページより無料ダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。

**HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection system) P30**  
デジタル信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

**HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P11**  
DVD機器などと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

## 位相 P17

アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

## エネルギースタープログラム P3

デスクトップコンピュータの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

## 応答速度 P30

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

## 輝度 P30

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

## コントラスト比 P30

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

## 残像 P23

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

## 視野角 P23, 30

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度（白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度）のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

## 水平周波数／垂直周波数 P20, 30

画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。

水平周波数：1秒間に表示される数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回表示書き換えているということです。

## チルト角度 P13, 30

チルト角度：ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことで、

## ノータッチオートアジャスト／NTAA (No Touch Auto Adjust) P21

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

## パワーマネージメント機能 P21

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

## 表示画素数／解像度 P20, 21, 30

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が多いほど多くの情報量を表示することができます。

## IV MODE (Intelligent Visual Mode) P2, 7, 18, 19

入力画像の平均輝度やディスプレイを使用される方の年齢に合わせた輝度設定により、目の疲労を軽減する明るさを抑えた画像を表示します。

## 仕様

形名	RDT202WM-S / RDT202WM-S (BK)		
LCD	グレア (光沢) 表面処理		
サイズ (表示サイズ)	20.1 型 (51.1 cm)		
有効表示領域	433.4 x 270.9mm		
表示画素数	1680 × 1050		
画素ピッチ	0.258mm		
表示色	約1677 万色		
視野角 (標準値)	左右160°、上75° 下85°		
輝度 (標準値)	450cd/m <sup>2</sup>		
コントラスト比 (標準値)	800 : 1		
応答速度	5msec		
PC入力	水平周波数	31.0 ~ 82.3kHz	
	垂直周波数	56 ~ 76Hz (ノンインターレース)	
	ビデオ信号	アナログRGB、デジタルRGB	
	同期信号	セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクタ	DVI-D(HDCP対応)、ミニD-SUB15 ピン	
ビデオ入力	信号方式	480p、1080i、720p、1080p	
	ビデオ信号	アナログRGB、アナログコンポーネント、デジタルRGB	
	信号入力コネクタ	DVI-D (HDCP対応)、ミニD-SUB15 ピン (アナログRGBとアナログコンポーネントと共通)	
音声入出力	入力コネクタ	Φ3.5mm ステレオミニジャック	
	スピーカー	1W+1W (ステレオ)	
	ヘッドフォン	Φ3.5mm ステレオミニジャック	
適合規格等	省エネルギー基準	国際エネルギースタートプログラム	
	安全	UL60950-1、c-UL	
	エルゴノミクス	ISO13406-2 (準拠)、TCO'03	
	不要輻射	VCCI-B、FCC/DOC、CE、低周波電磁界ガイドライン、MPRIII	
	環境	PCグリーンラベル(2006年度版)、グリーン購入法、J-Moss	
	プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	DDC/CI、Windows Vista™ Premium	
使用環境条件	温度	5 ~ 35℃	
	湿度	30 ~ 80% (結露のないこと)	
保管環境条件	温度	- 10 ~ 60℃	
	湿度	10 ~ 85% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	56W
		省エネモード	スリープモード時: 2W 以下、オフモード時: 1W以下
	電源入力コネクタ	3P IEC タイプ	
質量	約6kg (スタンドなし約5.5kg)		
梱包状態 (質量/寸法)	約8kg / 565 (W) × 500 (H) × 197 (D) mm		
チルト角度 / スイベル角度	上20°、下5° / 無し		
外形寸法			

【ミニ解説】 視野角: 白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度を示します。

### お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- 本機は、解像度1680x1050以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

お買い上げいただいた本製品はスウェーデンの労働団体(TCO)が定めた環境規格TCO '03ガイドラインに適合しています。TCO '03ガイドラインは、画面品質、環境保護、低周波漏洩電磁界、安全性、省電力、リサイクル性等、広い分野にわたって規定しています。以下の英文は、TCOが適合製品に英文で添付することを定めた環境文書で、TCO '03ガイドラインの目的および環境要求の概要を記述しています。

# TCO Development



## Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

### Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

### Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and the environment
- Electrical safety

### Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

### Ecology

- The product must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on:
  - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
  - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in cooperation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labelling system started with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit  
<http://www.tcodevelopment.com>

## FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
  - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
  - (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
  
2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
  - Reorient or relocate the receiving antenna.
  - Increase the separation between the equipment and receiver.
  - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
  - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems." This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

## Declaration of Conformity

---

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

<b>U.S. Responsible Party:</b>	<b>Mitsubishi Digital Electronics America, Inc.</b>
<b>Address:</b>	<b>9351 Jeronimo Road, Irvine, California 92618 U.S.A.</b>
<b>Tel. No.:</b>	<b>+1-(949)465-6000</b>
Type of Product:	Display Monitor
Equipment Classification:	Class B Peripheral
Model:	RDT202WM-S(BE560) RDT202WM-S(BK)(BE560)



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.



# さくいん

## 英数字

Macintosh ..... 2,3,10,20  
 IV MODE ..... 2,7,18,19,21  
 FCC ..... 30,32  
 OSD  
 OSD 画面 ..... 7,15 ~ 19  
 OSD 操作 ..... 15 ~ 19  
 画面の調節をする ..... 16  
 自動調節をする ..... 15  
 Windows®セットアップ ..... 2,14,24

## あ

安全のために必ず守ること ..... 4 ~ 6  
 案内画面/注意画面  
 NO SIGNAL ..... 24  
 OUT OF RANGE ..... 21,24  
 RESOLUTION NOTIFIER 13,18,19,24,28  
 位相 ..... 15,17,23,29  
 応答速度 ..... 29,30

## か

回収 ..... 25  
 解像度 ..... 13,19 ~ 24,29,30  
 各部の名称  
 ケーブルホルダー ..... 2,8,12,26  
 信号入力コネクタ ..... 8,9,30  
 スタンド ..... 2,6,7,26,30  
 操作ボタン ..... →操作ボタン  
 電源入力コネクタ ..... 8,12  
 電源ランプ ..... 7,21,22  
 盗難防止用ロック穴 ..... 8  
 本体正面 ..... 7  
 本体背面 ..... 8  
 画面  
 OSD 画面 ..... →OSD  
 工場プリセットタイミング ..... 20  
 規格  
 DDC 2B 規格 ..... 21,28,30  
 DDC CI 規格 ..... 18,28,30  
 DPM ..... 21,28  
 Plug&Play ..... 21,28  
 TCO'03 ..... 3,30,31  
 VESA 規格 ..... 21,26,28,30  
 I社キ-スタ-ア-の弘 ..... 3,29,30  
 輝度 ..... 29,30  
 機能  
 NTAA (No Touch Auto Adjust) ..... 21,29  
 OSD 機能 ..... 16 ~ 20  
 Plug&Play 機能 ..... 21,28  
 RESOLUTION NOTIFIER ..... 13,19,24,28  
 拡大・スムージングファイン機能 ..... 21  
 簡易表示機能 ..... 21  
 ノータッチオートアジャスト機能  
 ..... →機能:NTAA  
 パワーマネージメント機能 ..... 21,22,24,29  
 レゾリューションノーティファイヤ  
 ..... →機能:RESOLUTION NOTIFIER  
 画面調節 ..... 16,23  
 カラー調節 ..... 18,23  
 自動調節 ..... 15,17  
 コネクタ ..... →各部の名称/接続  
 個人情報の取り扱い ..... 25  
 困ったとき ..... 22 ~ 25  
 NO SIGNAL ..... 24

OUT OF RANGE ..... 24  
 RESOLUTION NOTIFIER 13,18,19,24,28  
 アフターサービス ..... 25  
 解像度 ..... 22 ~ 24  
 画面に何も映らない ..... 22  
 暗い/表示しない ..... 22  
 黒点/輝点 ..... 23  
 故障かな?と思ったら ..... 22 ~ 25  
 最適信号 ..... 24  
 残像 ..... 6,23,29  
 修理相談窓口 ..... 24  
 スピーカーから音が出ない! ..... 25  
 ちらつき ..... 23  
 電源ランプ ..... 22,24  
 バックライト ..... 22  
 表示がおかしい ..... 23  
 表示されない ..... 22,23  
 表示色 ..... 23  
 分配器 ..... 23  
 コントラスト比 ..... 29,30

## さ

残像 ..... →困ったとき  
 視野角 ..... 23,29,30  
 周波数 ..... 20 ~ 24,29,30  
 修理相談窓口 ..... 25  
 仕様 ..... 30  
 応答速度 ..... 30  
 外形寸法 ..... 18,24,30  
 解像度 ..... 13,15,18,28 ~ 30  
 画素ピッチ ..... 30  
 輝度 ..... 29,30  
 コントラスト比 ..... 29,30  
 質量 ..... 30  
 視野角 ..... 23,29,30  
 周波数 ..... 14,20 ~ 24,29,30  
 使用環境条件 ..... 30  
 消費電力 ..... 21,30  
 チルト角度 ..... 13,29,30  
 適合規格等 ..... 30  
 同期信号 ..... 30  
 ビデオ信号 ..... 30  
 表示画素数 ..... 21,29,30  
 表示色 ..... 30  
 保管環境条件 ..... 30  
 有効表示領域 ..... 30  
 HDCP ..... 28,30  
 垂直周波数 ..... 20,29,30  
 水平サイズ ..... 15,17,21  
 水平周波数 ..... 20,29,30  
 接続  
 アナログ接続 ..... 2,9,10  
 AV 機器との接続 ..... 11  
 HDMI ..... 11,28  
 コネクタとケーブルの対応表 ..... 9  
 角度を調節する ..... 13  
 信号ケーブルを接続する ..... 10,11  
 接地 (アース) ..... 12  
 電源を入れる ..... 12  
 電源を接続する ..... 12  
 ヘッドホンの接続 ..... 13  
 変換アダプター ..... 2,9,10,22  
 ミニ D-SUB15 ピン ..... 2,8 ~ 10  
 設定 ..... 15  
 自動調節をする ..... 15  
 操作ボタン  
 +ボタン ..... 7,15,16,18,19  
 -ボタン ..... 7,15,16,19  
 1 ⇄ 2/RESET ボタン ..... 7,15,17,19,24  
 ヘッドホン端子 ..... 2,7,13

SELECT ボタン ..... 7,15,16  
 電源スイッチ ..... →電源

## た

タイミング ..... 20  
 端子 ..... 2,8,9,28  
 調節項目 ..... 17 ~ 19  
 HOT KEY ..... 19  
 OSD オートオフ ..... 16,18,19  
 OSD ロック ..... 18,19  
 RESOLUTION NOTIFIER ..... 18,19  
 位相 ..... 17  
 オートコントラスト ..... 15,17  
 オールリセット ..... 18  
 言語切替 ..... 18  
 コントラスト ..... 17  
 下/上 ..... 17  
 自動調節 ..... 15,17  
 水平サイズ ..... 17  
 左/右 ..... 17  
 ブライツネス ..... 17  
 ブラックレベル ..... 17  
 チルト角度 ..... 13,29,30  
 テストパターン ..... 14,15  
 電源  
 アースリード線 ..... 12  
 電源コード ..... 2,3,8,12,22  
 電源スイッチ ..... 7,22  
 電源電圧 ..... 12  
 電源プラグ ..... 12  
 電源容量 ..... 12  
 同期信号 ..... 20,21,30

## な〜わ

廃棄する ..... 25  
 ビデオ信号 ..... 21,30  
 表示画素数 ..... 21,29,30  
 付属品 ..... 2  
 オーディオケーブル ..... 2,12  
 ケーブルホルダー ..... 2,8,12  
 信号ケーブル ..... 2,9 ~ 12  
 セットアップガイド ..... 2  
 電源コード ..... →電源  
 ベーススタンド ..... 2,9  
 保証書 ..... 2,25  
 ユーティリティディスク ..... 2,14  
 付録 ..... 26 ~ 29  
 市販のアームの取り付けかた ..... 26,27  
 再梱包するとき ..... 26  
 スタンドの取り外しかた ..... 26  
 ヘッドホン端子 ..... 2,7,13  
 保証とアフターサービス ..... 25  
 ユーザーメモリー機能 ..... 20  
 用語解説 ..... 28,29  
 リサイクル ..... 25



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 (東京ビル)

AW-P0271C